

2016年3月12日(土) ビジネス支援イベント

株式会社緑陽社講演会

「クリエイターの卵を育てる力に！同人誌印刷はコンテンツ産業を支える縁の下の力持ち」

地域で活躍されている企業から、仕事の面白さや創意工夫をお話しいただいている講演会の第4弾として、技術と品質の高さで同人誌印刷業界第3位の実績を誇る印刷会社、株式会社緑陽社の武川社長をお招きしました。

講演会では、まず同人誌印刷を理解していただくために、同人誌を創作しているサークルや即売会・コミックマーケットについての膨大な資料をプロジェクターで投影し、分かりやすく解説。参加者が同人誌ならではの流行や傾向を理解した上で、緑陽社の歩みについて話して頂きました。



同人誌はクリエイターを育てるインキュベーター（保育器）と語る武川社長。同人誌から創作活動を始めて経験を積んだという、プロのマンガ家や小説家・ゲームクリエイター・アニメーターも多いそうです。緑陽社は若者たちの創作意欲を、プロの印刷屋として支えて来られました。

通常、カラー印刷は赤・青・黄色・黒の4色で刷りますが、肌色の発色が良くなるピンク色を加えた5色印刷を業界に先駆けて導入し、安価な印刷に流れていく顧客を高価でも高い品質によって取り戻したという逸話も紹介されました。高い品質とサービスの追求は印刷機械だけでなく、原稿の再現性を追



会場で展示された、  
特殊印刷を施した作品

タイトル:「Durced Ficus Night Invitation」  
A5 12頁 全頁フィルム オールカラー

フィルムは透明で印刷が透けてしまうので、白インキの上にカラーを印刷している白インキの有無で透ける部分と透けない部分を作りだし、幻想的な雰囲気と物語の連続性を演出している

求したコミック専用印刷用紙の開発企画、創造的な特殊印刷など幅広く、プロ・アマ問わずアーティストの要望に高い技術と誠意で応え続ける姿勢に、武川社長の仕事への誇りが感じられました。

会場には同人誌やサブカルチャーに興味のある方から印刷業界に就職を志す学生の方まで幅広く参加いただきました。特に20代から40代までの若い女性が多く、印刷に関する技術的な質問や、職場環境としての取り組みに関する質問など、強い関心が伺えました。「印刷業界の一端を知ることが出来て、その技術の高さに驚いた」「未知の仕事の世界のことをお聞かせいただけで良かった」との声が多く、会場で手にすることができた多くの印刷見本にも満足いただけましたようでした。

今後も皆様に地域の元気な企業を紹介していきたいと思えます。



同人誌の可能性を  
熱く語る武川社長

会場で展示された、特殊印刷を施した作品

タイトル:「新米女神と勇者たち」

B5 100頁 48頁カラー 48頁モノクロ フランス風表紙

勇者たちの絵を「表紙1→袖→袖裏→表2→表3→  
表紙袖裏→袖→表紙4→表紙1に戻る」というように  
ループで繋げていき、その雄姿を  
描いている

